

県人会、本県の魅力PR

豪・パースで日本祭り

オーストラリア西海岸にあるパースの日本祭りはこのほど、オーストラリア（パース）福島県人会「パースふくしまの会」の会員らが参加してにぎやかに繰り広げられた。

パースは在留邦人が八千人を超える。祭り

は日本文化の紹介と日本人同士の親交、現地の人々との友好親善を目的に、パース駅前で開催された。真夏で気温は四〇度近く。オーストラリア人が好きな照り焼きチキン、お好み焼きのほか、たこ焼き、焼きそば、かき氷



大勢の人が詰め掛けたパースの日本祭り



展示販売された県産品

も人気を集めた。ヨーヨー釣り、浴衣体験、

折り紙遊びや忍者グッズ、日本のアニメグッズ

ズの展示販売や「コスプレ」など、さまざまな店が軒を運ねた。

ステージでは在

パース日本領事館の船山光一総領事のあいさつがあり、空手、柔道、剣道の模範演技、日本

人学校の生徒による民謡と踊りのショーが約二千人の来場者をくぎ付けにした。

福島県人会ブースでは、会津塗の漆器や喜多方の麺類、手作りの和小物などを販売するとともに、県国際課から送られた名所・観光案内パンフレットを配布して食の安全や観光をPRした。オーストラリアの人々は漆器の繊細な柄や深い色合いに興味を示し、はるばる福島から運ばれてきたことに感動して「ぜひ自宅に飾りたい」と

購入したり、普段手に入らない麺類をたくさん買い込んだりしていた。「福島の皆さんは大丈夫？」「福島頑張ってる」「福島の復興を願っている」との温かい言葉が寄せられた。

パースふくしまの会のストックトン亜紀子会長（福島市出身）は「活動で得た収益は福島の子供達に支援金として送る。今回のイベントを通して福島県とオーストラリアの交流がさらに深まることを願う」と話している。